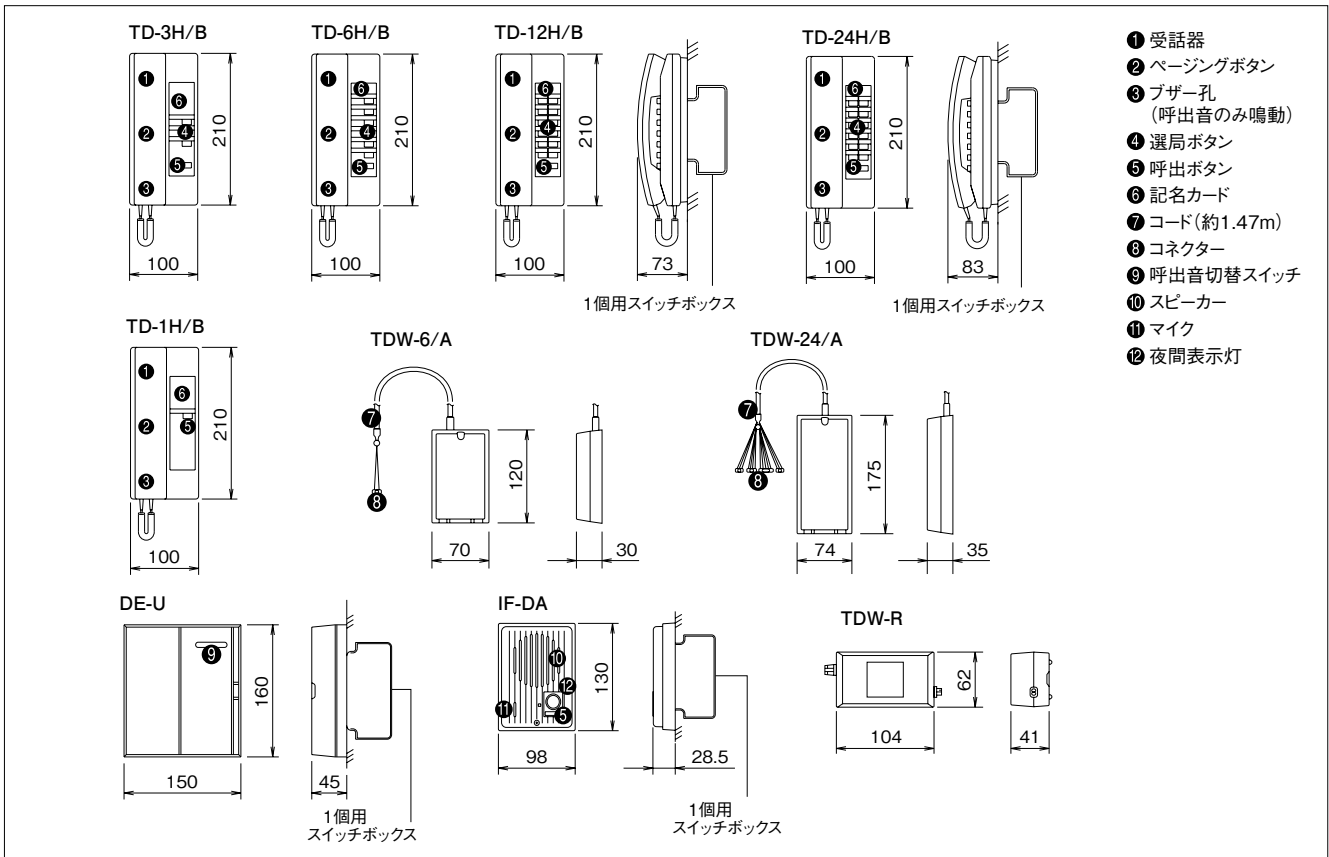


■各部の名称・寸法図(mm)



■配線・接続について

端子の説明 (機種によって端子の数が異なります。)

- 1~12 …呼出・通話端子
- A1~A12 (呼び出したい局のC端子へ接続)
- C…………呼出受信・通話端子
(相手局の番号端子に接続)
- D…………ドアホン呼出受信端子
(ドアホンアダプターのD端子に接続)
- +…………電源供給端子
(電源アダプターの+端子に極性を合わせて接続)

配線本数挿入

■相互式

●ベージング装置を取り付けた場合、その親機の最大使用台数からベージング系統分だけ使用できる親機の台数が減少します。例えば、TD-12H/BでA・B・Cの3系統に分けて各々にベージングを行う場合は、親機は10台まで使用できます。

●ベージング装置を取り付けた場合は、ベージング系統数と同じ本数の番号端子共通線が必要です。

■親子式

●共通配線の共通線は、 \square 、 \square の3線です。
●室内子機TD-1H/Bを親子式の子機として使用する場合には、子機からのベージング操作はできません。

■ドアホンアダプターを取り付けた場合、その親機の最大使用台数からドアホン接続台数だけ使用できる親機の台数が減少します。ドアホンアダプター—玄関子機間は2線です。

配線／結線上的ご注意

- 電源アダプター-PS-1225Aは、配線システムの中央部に設置してください。
- ドアホンアダプター-DE-Uは、必ず電源アダプター-PS-1225Aから15m以内に設置してください。
- ドアホンアダプターを2台接続する場合には、必ずドアホンアダプターの呼出音切替スイッチを一方はA、他方はBにセットしてください。(A・B音色の違いで区別します。)
- TD-24H/Bにドアホンアダプターを接続する場合、玄関子機の呼出番号は、 \square ~ \square の間としてください。 \square A1~ \square A12に接続しますと呼び出された時、一度呼出ボタン(左のCALL A)を押さないと通話できず不便になります。ベージングシステムも同様に、ベージング番号を1~12の間としてください。

■仕様 TD-nH (n=1, 3, 6, 12, 24)

電源電圧	DC12V…PS-1225A電源アダプター使用	
消費電流	最大70mA(1局当り)	
通話方式	玄関子機—親機…電話スピーカー型同時通話式 親機間…電話型同時通話式	
呼出方式	玄関子機—親機…断続電子トモロ音(2音・切替) 親機間…電子トモロ音	
配線数	親機—室内子機…(3線共通+1線個別)の4線 親機—親機…(2線+親機台数)共通、 但し玄関子機と通話する親機間 …(3線+〔玄関子機台数+親機台数〕共通 親機—ドアホンアダプター …(3線共通+1線個別)の4線 玄関子機—ドアホンアダプター…2線(無極性)	
通達距離	区間	単芯線 0.9mm
	最長親機間	1200m
	玄関子機—ドアホンアダプター間	280m
呼出音	親機—子機 電子音(ブルブル) 玄関子機 電子音(ププププまたはププププププ)	
形状	卓上使用の場合はターミナルボックス (別売品)を使用する。	
材質	ABS樹脂	
質量	約460g	
色調	エッグホワイトとグレーのツートーン	

DE-U

電源電圧	DC12V…PS-1225A電源アダプター使用
消費電流	最大120mA
子機接続台数	玄関子機1台
親機接続台数	親機1台あたり2台まで
呼出音切替スイッチ	親機 (プププププ) 親機 (ププププププ)
材質	ABS樹脂
質量	約310g
色調	リードホワイト

TDW-R

電源電圧	DC12V…PS-1225A電源アダプター使用
リレー接点	AC100V-DC24V-1A
材質	難燃性樹脂
質量	約140g
色調	パールホワイトとテナークレーのツートーン

配線まちがいの症状について

症状	原因推定力所
呼び出し、通話が全くできない。	電源アダプター \oplus \ominus 線がショートまたは結線はずれ等電源が正常に供給されていない。
どの相手からも呼び出されない。	その機器の \odot 端子が繋がっていない。
呼び出されるが、通話ができない。	その機器の \odot 端子が繋がっていない。
特定の機器のみ呼び出せない。	呼び出せない機器の番号端子と特定の機器の \odot 端子が繋がっていない。
希望する局以外の局を呼び出してしまふ。	呼び出したい機器の \odot 端子につながらず、他の局の \odot 端子につながっている。
呼び出しが同時に2ヵ所以上にかかる。	それぞれの機器の \odot 端子につながる配線どうしがどこかでショートしている。
特定の機器のみ呼出音が鳴りっぱなし。	その機器の \odot 端子につながる配線がどこかで \ominus 線とショートしている。